

平成 24 年度 かながわ森の町内会事業 業務評価書（自己・相互）

（発電課）

1 成果に関する評価について

（1）設定目標は達成できたか

3年目となる平成24年度は、累計90社以上の企業等から、かながわ森の町内会事業に賛同をいただくことを目標に取り組んだ。

平成25年2月末日において、既に95社から賛同を得られており、設定目標を達成することができた。

（2）効率的・効果的に対応できたか

インターネットの普及による文書のPDF化（電子化）及び官庁・民間企業のコストカットなどにより、パンフレット等の印刷物の減少が進む中、平成24年9月より「間伐に寄与する紙」にコピー用紙を加えたことにより、より多くの企業・団体等からの賛同を得ることができた。

（3）協働実施したことで、どのような効果があったか

企業庁にとっては、森の町内会活動に関する経験不足を、環境NPO「オフィス町内会」の豊富なノウハウにより補い、円滑な事業運営を図ることができた。

また、環境NPO「オフィス町内会」にとっては、神奈川県における知名度の不足を、神奈川県企業庁が県内企業等よりいただいている信頼により補い、円滑な事業運営を図ることができた。

2 協働の進め方等に関する評価について

（1）対等な関係を保持できたか

対等な関係の保持が図られた。

（2）プロセスは共有できたか

役割分担を定め、随時に打合せや連絡をこまめにとり、プロセスの共有が図られた。

3 役割分担に関する評価について

(1) 役割分担は適正だったか

概ね適正であった。

4 今後の課題と対応について

(1) 今後の課題

ア サポーター企業等の確保

かながわ森の町内会事業に賛同していただいた企業等に、今後も継続して信頼していただくとともに、新たな企業・団体等に、より多くの賛同をいただくため、さらなる工夫に努める必要がある。

イ 間伐対象森林の拡大

間伐を実施する対象森林の拡大に向け、本事業に賛同する県内の森林組合等と、環境NPO「オフィス町内会」の持つノウハウを活用し、さらなる工夫に努める必要がある。

(2) 対応

賛同していただいた企業等には、「間伐現地見学会」を開催し、本事業への理解を深めていただき、継続的な協力をお願いしていく。

また、より多くの賛同をいただくために、提案活動の効率化や新たな活動方法についてさらに検討し実施していく。